



笹井由明 議員

対話重視のまちづくりを どう展開

問 みなさんと共に「いい町」づくりの突破口の中、住民との対話を重視を掲げられていますが、町づくり懇談会の常設については、どのように考えておられるのか。また、第4次広陵町総合計画「みんなの広陵元気プラン」の実現への方向付けと、みんなで地域の課題解決をしようと地域担当者の考えは。

山村町長 まちづくり懇談会については、基本的に30名ぐらいで、半数は公募し、年5～6回開催したい。元気プラン実現についてもしつかり民意を反映しながら取り組みを進めたい。地域担当者の制度化についても研究します。

行政改革と民営化の 考え方はどうつか

問 政策目標達成でできる人員配置には、職員の年齢構成バランスの是正、支援スタッフの動向を踏まえ、

今後の定員管理の考え方を問う。また、民間委託が導入されている業務分野の実態と、今後の指定管理者導入についての見解をうかがいたい。

山村町長

平成25年4月1日現在の定員管理では208人となっています。今後の定年退職者数の増加を見え、毎年度の新規採用を実施し、

職種によつては支援スタッフの採用により補充する予定です。指定管理者制度の導入については、グリーンパレス、はしお元気村について調査研究を進めたい。

広陵元気号の 利用実態と方針は

問 ①現在までの路線別、月別利用者数、停留所別乗降者数について、その実績を聞かせてほしい。②これまで寄せられた意見、要望を集約したうえで、路線変更、ダイヤ改正などを踏まえ、今後、実証運行から定期運行への方向性について問う。

山村町長 ①現在までの利用者数は8753名であります。月別利用者数等は資料のとおりであります。

前年度同時期の1.5倍となっています。今後の方針は、地域公共交通活性化協議会を再編成し、議会からの資料を作成のうえ協議したい。

作業場と疑われる 「資材置場」からの廃水について

問 大字広瀬の「資材置場」に関しては、農業用水に汚水が入つて



八尾春雄 議員

町長の基本姿勢について

山村町長 事実確認して対応したい。

馬見北5丁目地区計画の 進捗状況について

問 馬見北5丁目地区計画の一般縦覧の開始はいつか。3月28日の都市計画審議会で確認した方針に基づいて、市計画法や地区計画の制度が障がい者差別をもたらすとの議論がある。どのように考えるか。

山村町長 地権者縦覧で反対した方には手紙をだして説得にあたっている。県との事前協議がととのつたので、馬見北5丁目地区計画は地権者が協力してよい

環境を守る手法の一つで、障がい者差別には当たらない。町は別途障がい者団体とも協議し、支援を約束している。

きている、廃水が処理されていないとの訴えがあつた。使用者の事業内容を確認し、廃水は沈殿・精製処理を行うように指導してもらいたい。県の業務であれば、町が県と協議して対応してもらいたい。もし産業廃棄物処理をしているなら周辺住民の同意が必要ではないか。

山村町長 事実確認して対応したい。